

大「涼」生産、製氷急ピッチ 太子町



夏場に需要が急増する氷の出荷作業が、兵庫県太子町の製氷工場で最盛期を迎えている。1日最大200トンを生産する工場では、6月から24時間態勢で巨大な氷柱を量産。真夏の「涼」は一口大に砕かれて、小売店の店頭で並んでいく。

本田冷蔵太子工場(同町糸井)

繁忙期は8月下旬まで続く

（大山伸一郎）

夏場に需要が急増する氷の出荷作業が、主にコンビニで販売するアイスコーヒードリンク用のアイスが売れ、従業員は思いつく間もない。同社品質管理部の小野成輝さん(33)は「6月の猛暑で早くから忙しくなってきた純氷。細かく砕かれ、カマクラによる品質検査を経て梱包される。」

「外の猛暑とは打って変わって気温の低い工場内、従業員は思いつく間もない。同社品質管理部の小野成輝さん(33)は「6月の猛暑で早くから忙しくなってきた純氷。細かく砕かれ、カマクラによる品質検査を経て梱包される。」

気泡などが入った部分を削り取られ、運び出されていく氷柱＝兵庫県太子町糸井



動画はコチラ

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。



対策徹底 3年ぶりの花火 芦屋

「芦屋サマーカーニバル」の花火ショーが23日夜、芦屋市南浜町の芦屋市総合公園潮芦屋ビーチであった。感染防止策を徹底し、3年ぶりに開催。コロナ禍で途絶えたつながりを取り戻してほしいとの思いを込めて、テーマは「つながり」にした。夏の夜空を色とりどりの花火が彩り、観客を魅了した。(斎藤雅志)＝28面に関連記事

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ【 】

① 2つの記事の写真から聞こえてくる音を書こう。

② 新聞から「夏」を感じる写真を切り抜いて紙（B4判ぐらい）の真ん中に貼ろう。

③ 周りに写真から感じる音や声、におい、味、手ざわりを書こう。

④ 一番下に、今年の夏休みにしたいことや思い出を書こう。